

平成29年2月20日

教頭 新田幸二

平成28年度 学校関係者評価（まとめ）

- 1 日時 平成29年2月20日 10:30-13:00
- 2 出席者 宇留間又衛門、山崎恵子、深山敏子（稲毛区副区長・区長代理）  
清宮武弘、柳田晋次、白鳥秀幸、永井健、新田幸二、大羽正人
- 欠席者 富澤洋、下川絹次郎、橘高俊（深山氏代理出席）

3 内容

校長から挨拶の後、下記について集計結果を説明、その後質疑、意見を伺った。

- (1) 学校評価表
- (2) 評価意見
- (3) 事業計画
- (4) 学校報告

白鳥) 着任し11ヶ月、校舎の修繕改善に努力した。3号館外壁塗装、中庭整備、購買・食堂の整備、旧実習棟の解体、本日から体育館の天井の修理が行われます。

日本語検定の導入と国際教育を柱に職員による塾訪問、中学校訪問を行い、受験者数については単願30人増、全体300人増となり、本年度の定員充足を期待させるものです。

皆さんに御協力いただいた春高バレーでは総体ベスト8、春高ベスト16という結果でした。進路でも筑波大学に2名合格するなど良い流れが作れているようです。今後、必ず伸びていける学校だと思っています。

宇留間) 耐震問題については、現場も確認したいと思っている。授業料の未納の問題はどうなっているのか

回答) 実習棟については検査の結果、耐震強度があまりにも低すぎており、解体という判断をした。施設を見学していただける機会も作りたい。授業料未納については就学支援金、授業料減免などの制度のおかげも有り、未納のまま卒業の時期に入る生徒は減ってきている。授業料未納である場合には卒業式には出席させるが、卒業証書はその日には渡さず、完納の後証書を渡すことにしている。

山崎) 留学している生徒の家庭に学校からの文書が渡っていない状況があるようだ。郵送など工夫をしてはいかがか。100周年というのはいつ頃になるのか

回答) 文書の件は不注意でした。留学生に関する連絡は取っていますが、通常の文書まではお送りしていません。対策します。関東中学創立が1925年（大正14年）なので2025年（平成38年）になります。それに向けて稲毛キャンパス全体の再整備の計画を立案中です。

清宮) 今回の入試の入学見込み数はどれほどになりますか? 人間科学コースの募集停止の影響はどうでしょうか?

回答) 昨年と比べ単願で+30, 全体で+300、10%の戻りを考えて、30が戻ってくるとすると+60の入学者になります。わかりませんが、400前後は見込めると考えています。

柳田) 英語の入試も変貌し、ヒアリングがますます重要度を増しています。その様な状況の中で、1年間の留学は大きな意味を持つと考えます。しかも18年も続いている。ニュージーランドに変わっても今後も協力させていっていただきたい。

深山副区長) いつ学校を訪問しても生徒は明るく挨拶をして下さり、本当に気持ちが良いです。この3年間良い時間を過ごしていただきたいし、大切に過ごしていただきたい。自転車事故等については啓発活動を行っており、活用していただきたい。

山崎) 自転車通学については、事故を起こした場合、保険に入っているかどうか大きな問題です。自転車通学許可の条件に保険証書のコピーの提出を求めているかがどうか。

回答) 検討させていただきます。

山崎) 同窓会会長さんをお願いですが、PTA 総会の際に同窓会の活動について御説明いただくことはできますか。

回答(宇留間) お時間をいただければ、お話をさせていただきます。

#### 4 まとめ

概ね良好な評価をいただいているが、家庭学習、情報施設設備・利用の問題、教育改革への対応、自転車通学への安全対策等についてご意見をいただいた。改善に努めたい。評価委員からは授業等については見えない部分が多いが、授業改革に向けての取り組みを外部に見える形で進めていく必要がある。

評価委員の皆さん御協力ありがとうございました。